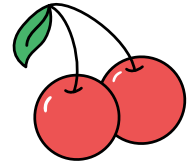


第3回



若者ミーティング 〈REPORT〉



Akashi
Youth Forum

1. WHAT'S ON:

第3回若者ミーティング

DATE

令和8年8月9日(日)
13:30-15:30

PLACE

パピオスあかし6階 こども健康センター
(明石市大明石町1丁目6-1)

MEMBER

高校生…2名 大学生…3名
若者(23歳以上)…1名

計6名

PROGRAM

1. 市長からのメッセージ
2. 趣旨・ルール説明
3. 交流タイム
4. グループワーク
5. 振り返りタイム

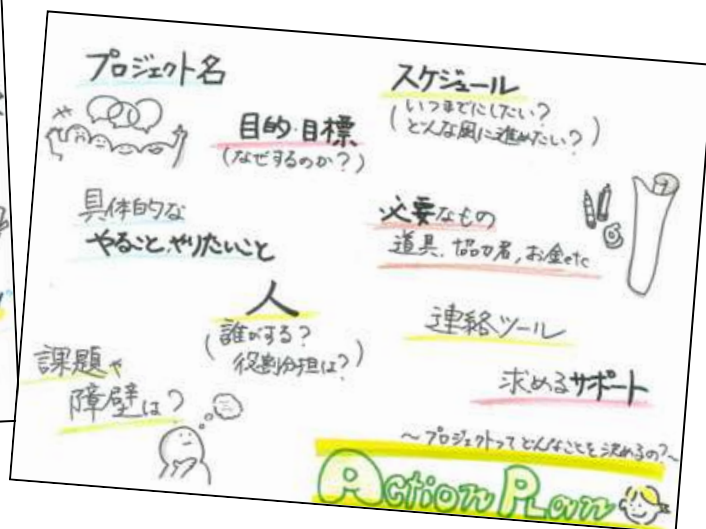
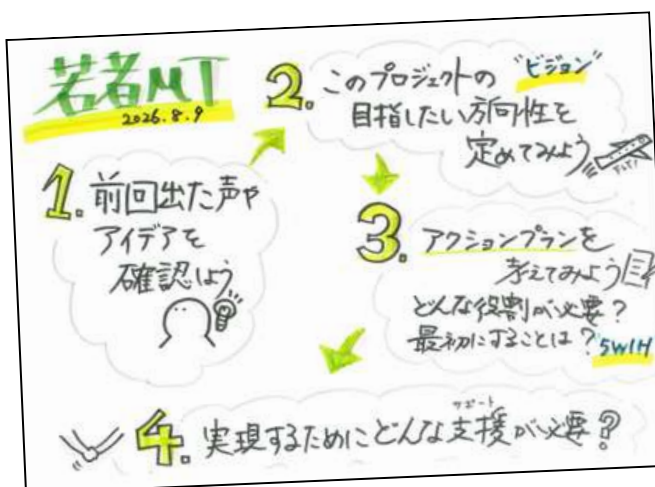
今回は少人数での開催でしたが、
参加メンバーは、いないメンバーの思いも
尊重し、自分たちで進めていける範囲で
アイデアを具体化してくれていました!

2. HOW TO:

グループワーク

【グループワーク：やってみたいことをカタチにしよう】

前回のミーティングで出たアイデアをもとに、各グループごとにプロジェクトの方向性や具体的なアクションプランを考えていきました。



3-1.Guide I :

LINEオープンチャットについて



若者ミーティングでは、LINEオープンチャットを開設しています。
事務局からのお知らせに活用していますが、今後は情報共有や、グループごとに派生してメンバー同士の連絡ツールにするなど、いろいろな活用方法を考えていきます。



第5回・第6回若者ミーティングの開催日時は、オープンチャットでアンケートを行って決定しました！この他にも、若者ミーティングをメンバーが自分たちでつくっていくために、オープンチャットをどんどん活用していきましょう！
※オープンチャットへの登録は、若者ミーティングメンバーへの登録の後にご案内します。

3-2.Guide II :

「あかし対話と共創ウィーク」について



※昨年度のリーフレット

「あかし対話と共創ウィーク」では、明石市内の各所で対話と共創に関する様々なイベントが集中的に開催されます。
昨年度は10月24日から11月1日の9日間にわたって開催され、様々な催しが行われました。
今年度も開催予定ですので、若者ミーティングでの取り組みを多くの人に知ってもらう貴重な機会として、関わり方を一緒に考えていきましょう！

対話と共創ウィークについて
詳しく知りたい方は
こちらの二次元コードを読み取ってね
(市ホームページ)



4. References:

各テーマの取り組みヒント

グループごとに具体的なアクションプランを考えるにあたり、各分野に詳しい大人の方々に実際に行われている取り組みの事例紹介や、取り組みを考える上で大切なことなどを教えていただきました！事例を知ることによってどんなことができそうか、具体的なイメージを持つことができました。

今後、これらのヒントを振り返りながら考えていくことができるよう、情報をまとめました。（資料は抜粋）



テーマ：イベント

公益財団法人神戸YMCA
事業統括責任者 奥田さん

明石市だけでなく、全国の自治体で、若者の声で生まれたイベントについて教えていただきました。また、イベントを企画するうえで大切にしたいことを確認しました。



〈全国の事例紹介〉

- ・「若者会議」から生まれた公園での「火遊び」をテーマにしたイベント（多摩市）
- ・お散歩ビンゴ
- ・フェスや夏祭り（神戸市、尼崎市）

〈ユーススペースでの事例紹介〉

- ・キャンプ
- ・音楽ライブ
- ・ピクニック
- ・クッキング
- など

ユーススペースで開催したイベントのチラシ✨
楽しそうなものがいっぱい！

①イベントづくりは意外と難しい！

- ・「やってみよう！」の気持ちがあれば大丈夫
- ・企画で大切なポイント
なぜそのイベントを開催するのか？
誰のためにするのか？
- ・目的と内容、対象が決まれば企画が進んでいく

②課題はみんなで解決できる！

- ・企画を進めると課題は必ず出てくる
ユーススペースの例
場所・お金の課題 → 市に相談し無料利用・市の予算の活用
- ・困ったときは仲間や大人に相談する

③イベントの力！

- ・仲間とのつながりが生まれる
- ・地域や町を元気にできる
- ・やってみようことを形にしよう！

イベントはつくっていく過程も、開催してからも自分と周りの人、町全体をつなぐ力があることがわかりました！

若者ミーティングからそんなイベントがたくさん生まれるといいですね😊



テーマ：居場所

NPO法人ブレン・ヒューマニティ
事務局長 片岡さん

「居場所づくり」の基本的な概念から具体的な事例まで、たくさんのヒントをいただきました。

居場所づくりについて考える

✓ そもそも居場所づくりって

- ・ 居場所って？ 子ども家庭庁<子どもの居場所づくりに関する指針>
 - 子ども・若者が過ごす場所・時間・人との関係性全てが、子ども・若者にとっての居場所になり得る。物理的な「場」だけでなく、遊びや体験活動、オンライン空間といった多様な形態をとり得るものである。
 - その場や対象を居場所と感ずるかどうかは、子ども・若者本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすか、その場をどのようにしていきたいかなど、子ども・若者が自ら決め、行動する姿勢など、子ども・若者の主体性を大切にすることが求められる。

目的としての居場所

結果としての居場所

居場所づくりについて考える



「居場所」は一人ひとりが決めるものである
→施設や場、物理的なものに限らない

目的を持って居場所を作ることあれば、
結果的に居場所になることもある
→その両方を含めて「居場所」

いろいろな居場所の例



AKASHIコーススペースやコースポートは
明石市が子ども・若者のために作った
居場所の例です！

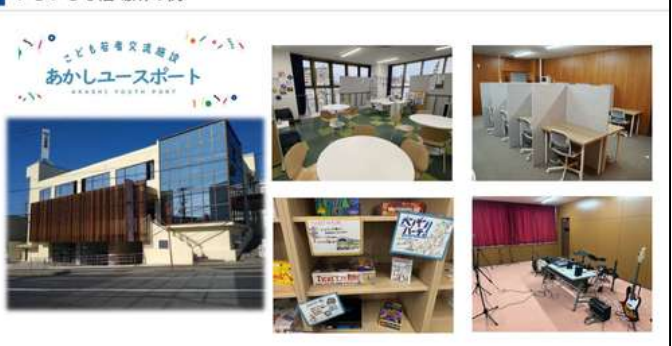
〈いろいろな居場所の例〉

- ・ 子ども食堂 ・ 夜のユースセンター
- ・ ゲームユースセンター ・ LGBTQの居場所
- ・ 大学生による大学生のための居場所 (海外では)
- ・ 牧場ユースセンター
- ・ デザインアートに特化したユースセンター
- ・ 工場のユースセンター

→ 誰の (ターゲットは誰か?)

どんな場 (コンセプトはなにが) が大切

いろいろな居場所の例



居場所をつくるうえで大切なこと

「誰のための、どんな居場所か」

結果としての居場所を作るのは難しいので、
目的を明確にすること



テーマ： やりたいことを応援する仕組み

公益財団法人こども財団
こども支援担当 山本さん

こども財団が運営する「こども応援助成金」について教えてくださいました！

こども財団とは？：地域とつながり、こども支援の活動をサポートする団体

サッカー交流会を企画＆運営

地域の中学生にサッカーを
楽しんでほしい！

こども応援助成金申請

毎回10人以上が参加。
「運営することの難しさ、楽しさ
を知ることができた！」



ヒーローショー@こども食堂

ヒーローショー

神戸芸術工科大学 特殊造



こどもたちを楽しませ
たい！

こども応援助成金申請

こども財団が地域のこ
ども食堂とマッチング。
20人以上のこどもが
参加！

〈助成金を使ってやりたいことを実現させた例〉

- ・ 明石商業高校サッカー部：サッカー交流会
- ・ 神戸芸術工科大学 特殊造形部：ヒーローショー

その他にも、いろいろなジャンルで活動例がある

その他にもさまざまな活動が！

- ・ 巨大段ボール迷路
- ・ こども食堂で音楽ライブ
- ・ 地域のこどもを対象にした茶道体験
- etc...

スポーツ、音楽、ダンス、芸術、ボランティア、地域交流など

夢

を応援します！

A. こども応援助成金

を利用してみよう！

こども応援助成金とは・・・

こども・若者の「やってみたいこと」「チャレンジしたいこと」をサポートする制度

対象	・ 明石市内に在住・在学(在勤)する25歳以下 ・ 概ね5人以上から構成されたグループ
活動場所	明石市内
助成内容	上限5万円

スポーツや芸術、音楽などの取り組み以外
にも努力した成果を披露したい、地域を
元気にしたいなど、若者の夢をサポート

- ・ 申請や審査の準備は、こども財団の担当者
とやりとりし、一緒に考えながら進めていくこ
とができる

「こんなことをしたい!」という熱い思いを語る場なので
難しく考えなくてOK! 気になった方はこども財団の
「こども応援助成金」について調べてみてね!

こども応援助成金交付までの流れ

こども財団へ
申請書提出

書類審査

プレゼン
審査

交付決定

★一緒に審査に向けて準備しましょう！



テーマ：防災

明石市SDGs 共創室
市民とつながる課 森課長

明石市の防災について、基本的な知識から明石で行われている防災の取り組みまで、幅広く教えていただきました。



・明石市では自助・共助・公助のそれぞれのフェーズに即した取り組みを行っている

どんな時に開くの？

○地震のとき
市内で震度5弱以上の地震が発生したとき

○大雨のとき
その区域に避難情報が発令されたとき

どこが避難所になるの？

【市がまず開設する避難所】
市立の小・中学校

◆校区は関係なし（近くの避難所へ）
◆生活の場となる（毛布等を用意）

必要に応じて開設される避難所として、市内の高校、厚生館、直営会館等があります。



・市では災害対策本部を設置する訓練や、総合防災訓練などを毎年行っており、防災に力を入れている



- ・防災訓練は市が行っているものもあれば、地域ごとに行っているものもある
→新しく防災イベントをする以外にも、今あるものに入り込んでいくという方法もある
- ・まずは自分の身を守ること
→明石市公式LNEの活用

防災のスペシャリスト！
明石市総合安全対策室から若者の皆さんへ…

・高校生が自分たちで作った防災ゲームや○×クイズを訓練参加者に対して行ったこともある
→若者が運営側になる

- ・若者たちの力は防災のために必要！
- ・「備え」の場面以外でも、実際に災害が起こったときに活動する「お助け隊」のようなものがあると嬉しいな…

★資料の完全版が欲しいメンバーは、お気軽に職員までお申し付けください！★

5 . DISCUSSION:

みんなの意見

イベントグループ

【メンバー】

- ・ ひまり（大学生）
- ・ はなまる（大学生）
- ・ みずき（若者）
- ・ まゆちゃん（若者）

前回いろいろなアイデアが出た！
そもそもイベントを行う目的ってなんだろう？
共通するものはあるかな？

- ・ 地域の人とつながるコミュニティづくり
- ・ 世代を問わない交流
- ・ 空いている場所（土地や畑など）を活かす
- ・ 防災

やること・やりたいこと

★防災グループと協力として防災訓練イベント

- ・ 防災食の試食・炊き出し→防災食を知ってもらう！
- ・ 防災食はローリングストックを使おう（9ページ参照）

★防災 × 運動会

- ・ 防災・避難セットを背負って走る！
- ・ 運動会の昼休憩で防災食を食べる

【必要な場所】

- ・ 王子フェスタ 秋頃
- ・ 大久保小冬祭り

早めに関係各所（まちづくり協議会など）に
コンタクトをとってみよう！

→ こういう場で防災ブース出展

★いろいろなやってみたいイベント

- ・ 海外みたいなイベント（イースター、ハロウィン）
- ・ "食"をテーマにしたイベント
- ・ 大倉海岸でイベント
- ・ 未成年の主張
- ・ 自然を活かしたイベント（田植えなど）



居場所グループ

【メンバー】

- ・ みさき（大学生）
- ・ しーちゃん（若者）



- ★自習室を増やしたい
- ★土日祝を含め、勉強できる時間を多く取りたい
- ★喧騒とした場所が苦手

個室の自習室を設けてほしい
（区切りあり）

どんな自習室？

- ・ カフェのように自由にドリンクを飲みながら落ち着いて勉強したい
- ・ パーテーションで仕切る
- ・ 利用料は無料に



対象者は？

小中学生はお小遣いに限りがある…

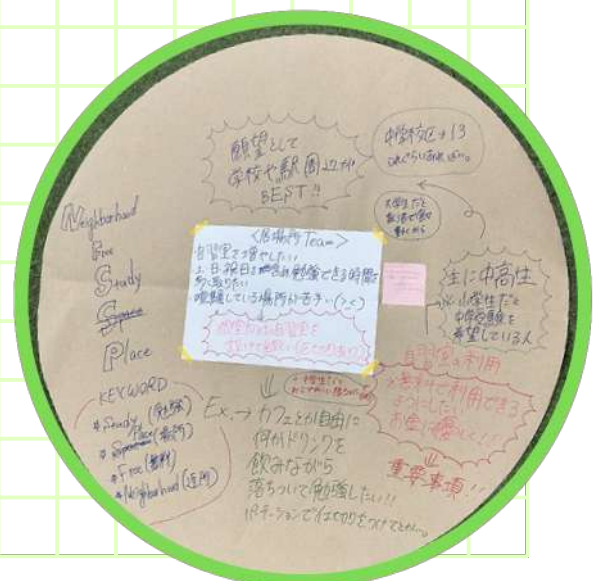
- ・ 主に中高生
- ・ 小学生の場合、中学受験希望者

どこで？

- ・ 駅や学校周辺
- ・ 中学校区数（13校区）くらいあればいい

キーワード

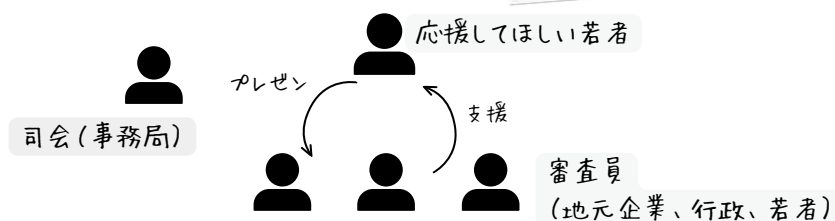
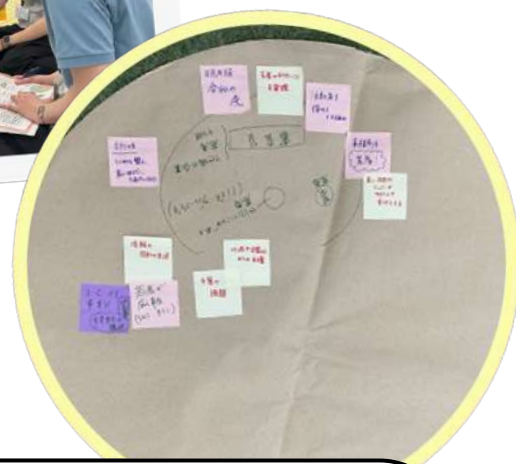
- ・ Study（勉強）
- ・ Place（場所）
- ・ Free（無料）
- ・ Neighborhood（近所）



やりたいことを応援する仕組みグループ

【メンバー】

- ・ ゆいな（高校生）
- ・ もねちゃん（若者）
- ・ やまもっちゃん（若者）
- ・ まりん（若者）



【プロジェクト名】明石版 令和の虎（仮称）

方向性

- ① 応援する仕組みを整え、若い世代に協力してもらう
- ② 活動先を探せる仕組みを作る

内容

- ① 支援することに興味がある若者や、OB・OG（過去に本プロジェクトの支援を受けた若者）が運営事務局を担う
- ② やりたいことがあって、支援してほしい若者が審査員に対しプレゼンを行う
- ③ 審査員は若者、地元の企業、行政職員など、様々な支援ができるよう各方面から設置する
- ④ 資金面の援助だけでなく、地元企業や行政からの資材や場所、機会の提供も含む
- ⑤ 主な案内・申込経路は学校

-
- ・ 申込のハードルを下げることができる
 - ・ 学校で行う研究を発展させられる

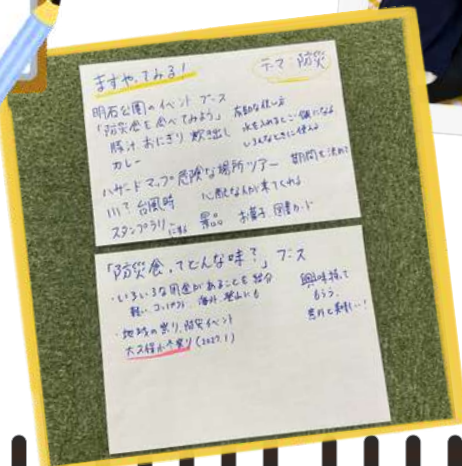
課題

- ・ 予算の確保
- ・ 情報の周知方法→若者自身が行う（TikTokやInstagramなど）

防災グループ

【メンバー】

- ・ こと（高校生）
- ・ いろ（若者）



まずやってみる！テーマ：防災

★明石公園のイベントブースで「防災食を食べてみよう」

- ・ 防災食の例）豚汁、おにぎり、炊き出しカレー
- ・ 目的：有効な使い方があることを知ってもらうこと

水を入れるだけでご飯になる！
災害以外にも役に立つ！

☞防災食にはローリングストックを使おう

ローリングストックとは？

→食品などを多めに買い置きして
賞味期限の古いものから
日常生活で消費し、その分新しく
買い足す備蓄方法

★地域のイベントで「防災食ってどんな味？」ブースの出展

- ・ 目的：「防災食って意外と美味しい！」と興味を持ってもらうこと
- ・ 防災食にはいろいろな用途があることを紹介
- ・ 地域のまつりや防災イベントで出展

軽くてコンパクトなので
海外旅行や登山などにも使える！

例）大久保小冬祭りなど

ここでイベントグループの
運動会について告知できれば◎

★「ハザードマップ危険な場所ツアー」

- ・ 「台風が来たら川が氾濫するかも…」と心配している人が来てくれる
- ・ スタンプラリーにする（景品にお菓子や図書カードなど）
- ・ ツアーの移動は最寄り駅などから徒歩で行く（災害時は徒歩移動が基本のため）

6. LOOK BACK:

当日の様子

第3回若者ミーティングの様子を写真で振り返ります♪
今回は少人数での開催になりましたが、グループの垣根を超えて
みんなの意見を聞きながら進めることができました✨

市長からのメッセージ！

昨年の10月に行われた共創ウィークの紹介がありました。
今年度の共創ウィークと若者ミーティングの取り組みが
コラボできたらおもしろいかも…！



今回からメンバーが進行も担当しました！
他にも、レクリエーションや会場の片付けなども
メンバーで協力して行ってくれました✨



メンバー考案のコミュニケーションタイム♪
「山手線ゲーム」をみんなで大きな輪を作って
やってみました！

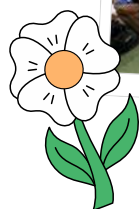
それぞれのテーマについて詳しい大人の方々による
取り組みのヒント提供タイム。
みんなメモを取りながら真剣に聞いていました。

Cool!





グループワークもすごく活発に行ってくれました！
アイデアが具体的になってくるとワクワクするね



最後はみんなに共有！
どのグループのアイデアも素敵でした✨



第3回若者ミーティングに参加してくださった皆さん、ありがとうございました！前回までに出た意見のいくつかが具体的になり、カタチが見えてきましたね👁️次回以降も、今回プランを深めた取り組みをブラッシュアップするだけでなく、新しいアイデアがどんどん生まれる場にしていきたいと思います。

「前回行けなかったな…」という人も気負わず気軽に参加してくださいね！みんなで一緒に、若者が生き生きと暮らせる明石をつくっていきましょう！



明石市 子育て支援室 こども・若者政策課

 078-918-6073

 kodomowakamono@city.akashi.lg.jp